



緑のまち



ともにつくる未来



花や緑を大切に



理事長あいさつ



尾崎 義昭

日野市内の木々も紅葉の季節となり、秋から冬支度へと移り変わりを感じる季節となりました。

前任者の萱嶋の元で副理事長を務めてまいりましたが、萱嶋の退任に伴いまして、公益財団法人日野市環境緑化協会の理事長に就任いたしました。なにぶん若輩にて浅学非才ではございますが、日野市の緑化推進、緑化保全の為に、当協会職員共々全力を尽くす所存でございます。

公益財団法人日野市環境緑化協会は、日野市における都市環境の向上を図るため、都市の緑化を推進し、緑と清流を守り、うるおい豊かな都市づくりに寄与することを目的としている公益財団法人です。花壇植付けボランティア団体の募集、花の交流広場、庭木の手入れ講習会、菊花コンテスト、緑の写真展、稲わら竹細工講習会、市内の落ち葉の腐葉土肥料の販売、市内公園公共施設への花の植え付け、市内公園清掃などを行っております。この「緑のまち」では、当協会の事業を紹介させていただきます。

日野市が緑がうるおい、豊かな都市へと発展することを引き続き目指してまいります。

むすびに、市民の皆様からの当協会へのご協力に、紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

平成27年度 決算

収 益	基本財産運用益	275,136円
	事業収益	20,841,820円
	受取補助金等	21,648,861円
	受取寄付金	23,948円
	雑収益	16,022円
経常収益計		42,805,787円
費用	事業費	37,916,135円
	管理費	4,948,637円
経常費用計		42,864,772円

平成28年度 予算

収 益	基本財産運用益	275,000円
	事業収益	22,751,000円
	受取補助金等	22,837,000円
	受取寄付金	20,000円
	雑収益	2,000円
経常収益計		45,885,000円
費用	事業費	40,716,187円
	管理費	5,168,813円
経常費用計		45,885,000円

「事業計画書・予算書」「事業報告書・決算書」については、緑化協会HPをご覧ください。緑化協会事務所に備え付けてありますのでお気軽にお越し下さい。

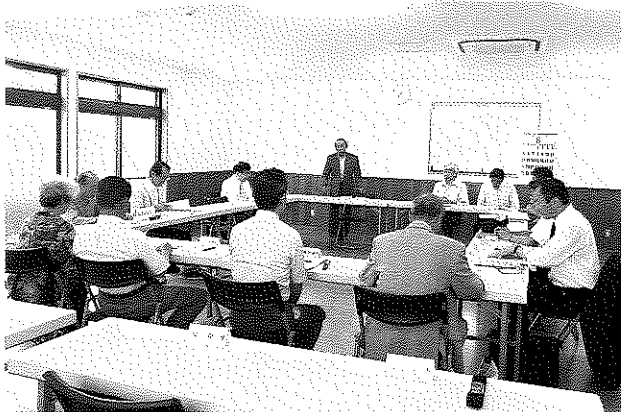
役員名簿

平成28年6月10日、緑化協会の役員が改選されました。

理事長	尾崎 義昭
副理事長	国分 知子
常務理事	渡邊 秀樹
理事	榎本 数隆
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	小笠 俊樹
理事	石坂 昌子
監事	三浦 盛好
監事	渡辺 良勝

評議員	垣内 成剛
評議員	奥住 日出男
評議員	橋本 栄萬
評議員	安西 清
評議員	片岡 容子
評議員	井上 敏夫
評議員	加納 秀一
評議員	奥住 登

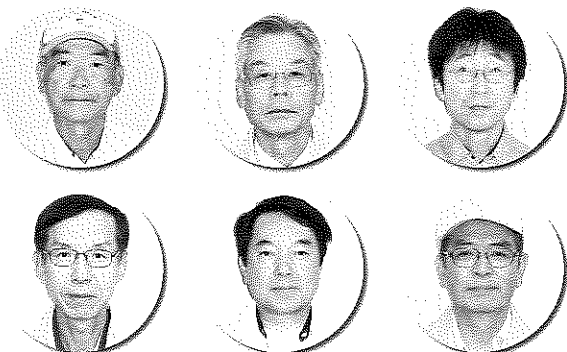
(順不同)



(評議員会の模様)

職員紹介

緑化協会では公園清掃や花苗の育苗など、年間を通して屋外の作業を行っています。夏の暑さや冬の寒さと戦いながら緑化協会を支える6人の職員を紹介します。



腐葉土・肥料 販売

緑化協会職員が作った安全な腐葉土及び乾燥(有機)肥料と、手軽に使える固形(化成)肥料を販売しています。是非、ご利用下さい。

〈販売場所〉 緑化協会事務所

〈販売時間〉 8:30~17:15 (平日)

〈価格〉 腐葉土(4ℓ)……………100円
 腐葉土(20ℓ)……………400円
 乾燥肥料(400g)……………100円
 固形肥料(160g)……………30円

*市内の公園の落ち葉を利用して、2年以上かけて作った腐葉土は、放射性物質検査を行ったのち販売しています。数に限りがあるので、1回の購入には数量制限がありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

平成28年度事業実績 (その1)

緑のリサイクル

ご家庭で増えすぎた植物をご提供いただき、市民のみなさんにお配りするこのイベントは、今年も大盛況となりました。今年度は、昨年よりも160点も多い、約158種1,125点もの植物をご提供いただき、4月23日の配布日に大勢のみなさまにお渡しできました。また、育て方などの疑問にお答えする「花と緑の健康相談」も行いました。



子ども昆虫教室

7月16日(土)市内小学生を対象に「子ども昆虫教室」を実施しました。世界のクワガタから、日野で見ることができる昆虫の標本の鑑賞や、経験豊かな先生の昆虫エピソードで盛り上がりたり、珍しい生きた昆虫に触れてみたりと盛りだくさんでした。今年参加のみなさんは、先生も驚くほどの昆虫博士ばかりで、活気のある教室になりました。



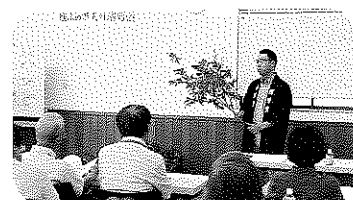
菊の育て方講習会と菊苗の無料配布

市の花である「菊」の普及と、秋に開催する「菊花コンテスト」に出品していただくため、菊苗の無料配布(約7,600本)を実施しました。それに伴って7月に「大菊の育て方講習会」8月に「ポットマム・スプレー菊の育て方講習会」を実施しました。講習会では、苗の植えつけ方や病害虫の駆除など詳しく教えていただきました。



庭木の手入れ講習会

10月6日(木)日野緑進会から講師を招き講習会を行いました。剪定鋏など道具の選び方や手入れの仕方から始まり、剪定の基本と極意に至るまで、とても貴重なお話を伺うことができました。



後半は気持ちの良い秋晴れの中、中央公園内の都市緑化見本園で剪定実演も行いました。

平成28年度 今後の事業予定

緑の写真展

平成28年12月16日(金)～12月26日(月)

場所：市役所1階市民ホール テーマ①「日野の四季」 テーマ②「わが家の緑」
募集期間は、11月4日(金)～12月9日(金)です。お気軽にご参加ください。
※詳細は「広報ひの」11月1日号(募集)12月1日号(写真展開催)掲載

稲わら竹細工講習会

平成28年12月15日(木)開催

自然の素材、稲わらと竹を使って、ミニ門松を作ります。※詳細は「広報ひの」12月1日号掲載

春の草花・家庭果樹の管理講習会

平成29年2月2日(木)開催予定

春を迎える前に、草花の管理のコツなど学んでみませんか?
※詳細は「広報ひの」1月15日号掲載予定

ガーデニング講習会

平成29年3月9日(木)開催予定

ガーデニングの疑問点はここで解決! ※詳細は「広報ひの」2月15日号掲載予定

スプリングフェスタひの

平成29年3月25日(土)・26日(日)開催予定

日野中央公園にて各種イベントや市内商工業者等による模擬店が出店されます。
※詳細は「広報ひの」3月15日号掲載予定

※詳しくは、いずれも緑化協会ホームページをご覧ください。(http://www.hinoryokka.org/)



日野市長賞
豊田 直子 様
「ありがとう!の庭」



日野市議会議長賞
石井 幸子 様
「ナチュラルキッチンガーデン」



緑化協会理事長賞
山中 信子 様
「私の箱庭」

第12回 ガーデニングコンテスト



春先に芽吹き始めた草花たちが、一斉に踊りだす季節に、恒例のガーデニングコンテストを開催しました。
一日一日の手間と愛情の積み重ねに对应てくれるお庭たちに、今年も癒しと感動をもらいました。一部ですが、受賞されたお庭をご紹介します。

ガーデニングコンテスト 参加のご案内

緑化協会では、今後も緑と花のあるまちづくりをするために、同事業を実施する予定です。
コンテストへのご参加は、概ね締切日の1年以内に撮影したお写真が必要です。
是非、今からお写真の準備をしていただき、来年度お一人でも多くのおみなさんのご参加をお待ちしております。（開催時期：4月～5月）

菊花コンテスト



小学校の部 日野市長賞



市民一般の部 日野市長賞



老人クラブの部 日野市長賞

展示期間：平成28年11月1日(火)～10日(木)

平成28年 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

(敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学生の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	小島 長蔵	菊地 邦雄	菊地 邦雄	悠悠クラブ	悠悠クラブ	第六小学校
日野市議会議長賞	天野 正次	山本 正子		新町青葉クラブ	新町青葉クラブ	東光寺小学校
日野市教育委員会委員長賞						第一小学校
(公財)日野市環境緑化協会理事長賞	増澤 愛	田中 弘	峯岸 恵子	久和の美会		滝合小学校
日野市老人クラブ連合会会長賞				川北クラブ		
日野市菊友会会長賞	菊地 邦雄	山本 寛				
東京南農業協同組合組合長賞	山本 寛	山鼻 茂子		豊寿会		

夏に配布した菊苗が、美しく咲いて帰ってきました。右表の入賞された方々を、11月10日に煉瓦ホールで表彰しました。



ガーデニング講座 ～病害虫編～



「この虫なあに・・・？ これって病気？」

大切に育てているお花や野菜が病害虫の被害に遭われたことはありませんか？

植物に病害虫がついているときは植物の調子があまりよくないということです。適切な栽培管理を行って元気になるようにしてあげましょう。植物の病気には、有効な薬剤がないものもあります。早く発見して他の株に伝染させないために、病気や害虫について知ることが大切です。殺菌・殺虫剤を使って病害虫駆除する場合には、幼い子どもや老人、ペット類のいる場所での散布は避けましょう。それでは、少しご紹介しましょう!!

病気	灰色かび病	うどんこ病	もち病	天狗巢病	かいはよう病
被害の症状	水が染みたような病斑が発生し、そのうち褐色に変化し、しばらくすると灰褐色のカビが表面を覆う。	葉や枝に白い粉状のカビが生える。すぐには枯死しないが徐々に生気を失う。	春と秋に発生しやすく、名前の通り、餅を焼いたように肉厚になり、球状に膨れて変形し、変色する。	樹木・野菜・草花に発生し、発症すると枝や茎の1カ所厚になり、球状に膨れて変形し、変色する。	細菌による病気で、果実・葉・枝などにかさぶたのようなかいはよう状の斑点が発症する。
画像					
対処法	軽症の場合は、症状が出ている葉をちぎって様子を見る。ちぎった葉は胞子が飛ぶので破棄する。それでも広がる場合は1週間おきにお酢を30～50倍に薄めた液をかけると効果的。重症の場合は薬剤散布する。	初期段階であれば、重層を溶かした水を散布してカビの繁殖を抑える。重症の場合は、強い薬剤を散布する必要がある。それでも回復しないのであれば、病変を切り取って拡大を食い止める。	病変部をみつけたら、白いカビが発生する前に摘み取って処分し、病気が広がるのを防ぐ。その後、殺菌剤を散布し、発病を抑える。	天狗巢状の小枝を発見したら、こぶの部分を含めて枝を切り処分する。落葉樹の場合は特に冬にみつけやすく、病気の早期発見にもなる。薬剤を使う場合は樹木の切り口にペースト剤を塗って感染を防ぐ。	●かいはよう病が発生した土地では、2～3年同じ植物を植えないようにする。 ●かんきつ類などの果樹類は、発病した枝や葉で病原細菌が冬を越すので、冬間に発病した枝や葉は剪定して切り取る。

害虫	ハダニ	アブラムシ	ハモグリバエ(エカキムシ)	チャドクガ	ヨトウムシ(ヨトウガの幼虫)
被害の症状	あらゆる植物の葉に寄生する0.5ミリほどのクモに似た害虫。葉の裏で液汁を吸い、葉がかすり状になる。	葉や茎について液汁を吸うため、葉や茎が伸びず、つぼみは開花しなくなってしまう。	葉の中に小さな虫が潜り、葉肉を食害しながら移動する。葉の表面が白っぽく絵を描いたようなあとが残る。	幼虫は4～10月にかけ2回発生。椿やさざんかの葉を食害し、毒針毛に触れると痒みが出る。	年2回発生し、昼間土に隠れていて、夜になると一斉に活動し茎や葉を食害する。成虫は葉裏に産卵する。
画像					
対処法	少数の場合は、葉の裏に集団で寄生しているので、セロハンテープやガムテープで貼付けてはがす又は牛乳と水を1：1で割り、吹きかけて窒息死するのを待つ。大量発生の場合は勢いよく流水をかけるか薬剤を使用する。	①てんとう虫に食べてもらう ②ガムテープ等で取り除く ③不要のCDをぶら下げる(光の反射を嫌うため) ④黄色の粘着テープをぶら下げる(黄色に誘われる習性利用) ⑤ニンニク・葱・生姜等の虫が苦手な成分で寄せ付けない	食害にあった葉を切り取り、処分する。寄生している葉を全部処分すると影響が出そうな時は幼虫をピンセット等で潰す。次に薬剤を散布し完全に駆除する。黄色の粘着テープでおびき寄せ、そこに殺虫剤を置くが良い。	①葉ごと切る・・・幼虫は葉裏に群れている所を切る。毒針毛が飛び散ることがあるので、専用の固めるスプレーを使用すると安全。 ②薬剤散布・・・手の届く範囲はスプレー殺虫剤で、樹木全体・範囲が広い場合は液体殺虫剤(農薬)が良い。	(予防) ①ネットで囲う。 卵を産み付けるのを防ぐ。 ②春と秋に殺虫剤や防虫剤を散布すると効果的!(駆除) 放っておくと植物全体を食い尽くす可能性があるため、みつけたらすぐに退治し、浸食された葉は処分する。

※薬剤を薄める倍率はきちんと守りましょう。濃い薬剤を使用しても殺菌・殺虫効果が高くなることはなく、むしろ植物が枯れてしまうこともあります。※同じ病気でも野菜・果物・花の種類によって効果的な薬剤が違ったりする場合があります。本などで調べたり、お店で聞いたりして適切なものをお使いください。

市民ボランティア募集中!

お花に興味がある方、日野市内の公園等の植付けにご協力頂けませんか?

もちろん、花卉は緑化協会で支給します。

植付けや水やり、草取りをお手伝いして下さる方をお待ちしております。

植付け場所や時期等は制限もありますので、お気軽にご相談ください!!

☎ 585-4740



四中生徒の職場体験学習

野球・テニス・バスケ部所属の3人の生徒さんが2日間協会に来てくれました。腐葉土の選別・肥料の袋詰め、特に雨上がりの公園清掃や畑の除草は、大変だったと思います。身近な公園の緑や花壇の花を咲かせる迄には、見えないところで様々な仕事に取り組み努力している現場の人たちやボランティアの方々の活動があることを理解してくれたと思います。

来年も当協会での職場体験をお待ちしています!



作文集 「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に

二、六四六名の児童から応募がありました。

この中から今年も七名の審査委員により入選作

一一五編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発

行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員

長の講評を掲載します。

守りたい日野の緑 わたしができること

日野第七小学校

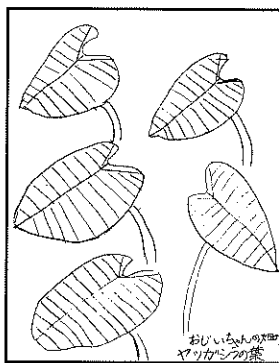
四年二組 谷内新奈

わたしのおじいちゃんは、日野市東平山にある農園で野菜を育てています。わたしは一年生の時から野菜の世話やしゅうかくのお手伝いをしています。今回、「緑の町」をテーマに作文を書くことになり、改めて農業のはたらきについて調べました。

わたしは今まで、農業とは作物を作るだけだと思っていましたが、他にもいろいろな

はたらきがあることを、農林水産省などのホームページより知りました。そのはたらきとは、こう水をふせいだり、地下水をつくる、生き物を育てたり、美しい風景をつくることなどがあげられていました。また、田畑は暑さをやわらげるはたらきもあり、そのはたらきによって空気をひやします。ひやされた空気は、周辺市街地の気温が上がるのをおさえるこう果もあるそうです、かんきょうにもやさしいことが分かります。考えてみると、わたしの家の周りより、おじいちゃんの農園は、同じ日野市内でもずっと涼しく感じられるし、カブトムシやかえるなど、たくさんの生き物が生息してい

ます。おじいちゃんの農園は無農薬で、毛虫やクモもたくさんいて、いやだなあと思っていたけれど、毛虫やクモは作物についでいる害虫を食べてくれることをおじいちゃんから聞き、毛虫もクモも苦手だけれど、田畑や緑をつくるうえで役立っているのだと思いました。



わたしは今まで、自然は守らなくてはならないと思っていましたが、実はわたしたち人間は自然の中で守られて生活していることを今回の作文で学びました。緑を守るためにわたしができることは、作物を育てるほかに、節電節水、エコバッグの持参など少ないかもしれませんが、しかし、緑を守りたい気持ちだけでは、守ることはできないので、今回のように緑やかんきょうを守ることに関心を持ち、学んでいくことが大切なのだと思います。

豊田で成長する幸せ

豊田小学校

六年二組 中村遥都

ぼくは、ほかほかご飯が大好きです。母は、「遥都が一歳の時から、外に出かける時はいつも塩おむすびを持って出かけたんだよ。」と、教えてくれました。ぼくは、小さい頃から近所の人や知らない人にも、「体が大きいね。生まれた時も大きかったの。」と、よく声をかけられました。今では、母の事も見おろすようになりました。毎日、成長しているのには、お米のおかげかもしれないなと思いました。

ぼくの住む豊田は、田んぼや畑が多くあります。農業をしている人も、たくさんいます。家から学校まで歩いていると、腰の曲がったおばあちゃんが田んぼの手入れをしている姿をよく見ます。始めは、十センチ位の稲が、一日一日たつごとに、少しずつ青々となり葉の数も増えて成長しているなど、見て分かる時は、カエル達が、

「ゲコゲコゲコ」と、鳴いています。カエルも、おばあちゃんの田んぼのおかげで、おたまじゃくしからカエルに成長が来て嬉しくて、ありがとうのメッセージを言っているのかもしれないと思います。おばあちゃんが、丁寧に、作業をしている姿を見て、大切に作っている物は、どんな物でもありがとうの気持ちを忘れないうようにしようと思いました。そして、ぼくは、料理をする事が好きです。ご飯に合うおかずを考えたり、作ったりして、家族みんなで楽しく過ごしたいと思っています。

この作文を書きながら、ぼくの住む日野は、自然が豊かなんだと感じました。浅川が流れ、鳥が飛び、つりや散歩をしている人を見ます。遠くを見ると、モノレールや富士山もきれいです。ぼくは、これからもこの土地で、自然を感じ大切にしながら、ご飯をたくさん食べて、もつともつと成長していきます。



日本一の日野産

「桃太郎」

日野第六小学校

六年二組 本郷 有輝

毎年、初夏になると、父がマラソンの練習の帰りに、真っ赤で大きなトマトを買ってきてくれます。そのトマトがとにかくおいしいのです。近所の農産物直売所で売っているそうなのですが、すぐ売り切れてしまうそうです。スーパーで売っている普通のトマトよりも、味が濃くて、とてもみずみずしいので、人気なのも分かる気がします。

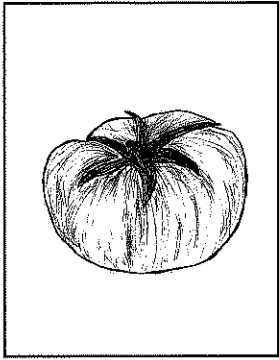
そのまま丸ごと食べてもすごくおいしいのですが、我が家ではプランターのバジルをきざんでトマトサラダにすることが多いです。

日野市ではトマトの栽培が盛んで、生産額は、日野市の野菜部門で一位だそうです。日野市で作られているトマトは、「日野ファースト」と「桃太郎」の二種類があります。トマトの作り方は、ハウス栽培と露地栽培があり、どちらのトマトも甘くておいしいのですが、私は、露地栽培の「桃太郎」が一番おいしいと思います。

農業は日野市の主要産業の一つですが、高齢化により、年々農家の方が減ってきているそうです。緑といえは、ふつう森林を思い浮かべますが、農地も立派な緑の一つだと思います。農家が減って農地が住宅地に変わったりすると、その分緑が減ってしまうので、農地を守る工夫が必要だと思います。

日野市には農産物直売所がたくさんあり、トマトだけではなく、色々な種類の新鮮な農産物を買うことができます。夏休みには、父と万願寺の直売所に行った時、リンゴやパッションフルーツも売っていて、どれも日野産だと知り、大変おどろきました。

地産地消を積極的にい日野市の農業を盛んにすることによって、緑豊かな農地を守っていくことが大切だと思います。日野市はかつて「多摩の米蔵」と言われるほど稲作が盛んだったそうですが、いつか「多摩の八百屋さん」と言われるようになってほしいです。



愛され続ける緑のまち

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山 弘志

日野市内の四年生と六年生の児童が、(公財)日野市環境緑化協会主催の作文集「緑のまち」に、今年度は二千六百四十六点の作品を寄せてくれました。夏休みの課題として取り組んでいる学校も多く、毎年同じくらいの作文の応募があります。私を含めた七名の審査委員は、これらの作品を丁寧に読ませていただきました。この作文集に掲載する作品は、審査委員全員の総意として選出したものです。

この作文集の大きなテーマは、「緑のまち」です。「緑と清流のまち」と言われている日野市について、児童が、日野市の環境をどのようにとらえ、どのような願

いを抱いているのかを、作文をとおしてうかがい知ることができました。四年生と六年生の児童は、この作文集への応募をとおして、自分が生まれ生活しているまちについて、改めて思いを寄せることになりました。そして、自分とまちとの関係性について真剣に見つめ、感じ、考え、感謝し、様々な思いを心の中に彷彿させて、それらを整理しながら文章にしたことと思います。どの作文も児童がテーマについて真正面から向き合っている素晴らしいものでした。

毎年このことですが、寄せられた作品を読んで強く感じることは、児童の皆さんが、日野市の丘陵や河川、

公園、田畑などで、自然体験、農作業体験、清掃活動などに参加し、樹木、草花、鳥、魚、虫などに触れる直接体験をたくさんしていることです。また、大人が想像している以上に、児童の皆さんは、身近な自然について関心や思いを強く抱き、日野市の環境、特に、緑が豊かであることに喜びと感謝の気持ちをもってしていることです。

自分が住んでいるまちについて、児童が真剣に考えて作文にし、多くのの人に知ってもらおう機会をつくるこの作文集「緑のまち」は、大きな役割を担っていると改めて感じました。

さいかちせき公園 橋北公園

浅川沿いの静かな住宅街にある2つの公園は、老人クラブの有志、30名ほどが愛護会として清掃活動を行っています。

毎月2回の日曜日には、担当している公園だけでなく、堤防沿いに生えた雑草や道路の三角地など、地域のためにと全員が一生懸命に清掃活動を行っています。

掃除が終わった後には、当番の方が用意してくれたお茶を飲んで、会員同士のコミュニケーションの時間です。草取りや落ち葉掃きなど、汗をかきながら真剣な表情で行っていた顔に「ホッ」とした笑みがこぼれる瞬間でもあります。

この日、他県から来た会員のお孫さんが手伝っていました。『おじいちゃんやおばあちゃん達、お掃除していてスゴイ！僕もおうちに帰ったら公園の掃除をするんだ！』と目を輝かせていました。

子どもの目には、地域のために真剣に清掃活動をする大人の姿がヒーローのようにカッコ良く映っていたことでしょう。



公

園

紹

介



ほほえみ公園

閑静な住宅街にあり、金木犀の香りが漂う四季の彩り豊かな公園です。

「我が子が使っているから恩返し」「運動不足の解消」など、活動をはじめた理由はそれぞれですが、近所で声を掛けあって愛護会活動を続けています。

活動をはじめた20年程前は雑草と犬のフンで汚れていた公園も、清掃を継続して来たので、とても綺麗になって来た。と顔をほころばせていました。



数年前に会員のご主人が活動に加わってからは、更に細かい所まで目が届くようになって来たそうです。

数年前からは自治会とも協力し合って、いつも安全で遊びやすい公園を目指し、地域一丸となって取り組んでいます。

以前、活動中に何った時の出来事です。通りかかった中学生に「〇〇くん、もう帰り？」「はい、今日は終わるのが早い日です」なんて場面もありました。地域全体で子育てしている素敵な所だなあと羨ましくなりました。

そんな地域の一役を担って、子育て真っ最中のお母さんから中高年の方まで、幅広い年代の方々が清掃活動を行っている愛護会でした。

取材日記

今回取材に行った公園で、毎日のようにボランティアで公園清掃を下さっている市民の方にお会いしました。

聞いた話によると、公園の隣に住んでいるからと毎日少しずつ雑草を手で取って下さっているそうです。時間がなくてお話しも出来ず「ありがとうございます」しか言えませんでした。私も将来年を重ねて時間に余裕ができた時、果たして同じことが出来るだろうか？と、自分を顧みて心から感謝の思いを抱きました。今回記事にした愛護会や、それ以外の数ある愛護会のみなさん、そしてボランティアで清掃活動をして下さっている市民の方々に、紙面を通して深く『ありがとうございます』の気持ちを伝えたいです。

緑の募金

今年も多くの方々の緑化に対する深い理解とご協力により、たくさんの「緑の募金」が寄せられました。

お預かりした募金は、東京緑化推進委員会に納入して森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内公共施設や公園等の花壇に四季の花々を植付けするなど、多くの場面で役立っています。

皆様のご協力、ありがとうございました。

平成28年度募金総額（9月末現在）

1,558,524円



編集後記

「股のぞき」をして景色を見ると、直立してみた時より奥行きが少ない印象を受けるのは何故か？ちょっぴりお茶目な研究が、9月にイグ・ノーベル賞に輝きました。東山篤規立命館大学教授は、授賞式で股のぞきを実演、スピーチは爆笑に包まれたそうです。

市内にある身近な公園も、「股のぞき」をしてみると違った景色が見えると思います。

公園の清掃活動をしていただいているボランティアの方々と共に知恵を出し合い、子どもさんやみなさんの力が未来につながるよう、身の回りにある地域の公園で一度、「股のぞき」をしてみませんか？

【H・W】